

2020年11月12日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名:安全で適正な輸血・細胞治療及び移植医療の推進に係る後方視的検討
(廃棄検体を利用した SARS-CoV-2 検査法の開発)

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

対象は、2012年1月1日から2025年3月31日の間に藤田医科大学病院にて輸血、細胞治療ないし移植医療を受けた患者さんです。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は2012年1月1日から2025年3月31日の間に藤田医科大学病院にて輸血前後で保存検体を採取された患者さんを対象に、SARS-CoV-2 検査法の開発に関する検討を行います。

当院では厚生労働省の指針に則って、輸血前後に検査を保存しております。これは確率的には極めてまれではありますが、輸血後に感染症に罹ってしまった場合に輸血による感染症を証明し救済制度を受けるのに役立ちます。保存検体は2年を目安に保存することになっており、2年以上が経過した検体は廃棄しております。

昨今、SARS-CoV-2 感染症(COVID-19)が世界的な問題となっております。今回は保存期間を終えた廃棄検体を利用し、SARS-CoV-2 感染症に関する検査法の開発および冬かぜウイルスとの関連についての検討に有効利用させていただきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

共通観察項目:患者年齢・性別・既往歴・疾患・病名・治療内容・治療効果、有害事象の有無と程度・生存期間など

検査データ:血液生化学項目・凝固・線溶・胸部 X 線画像など

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

本学の研究責任者:

藤田医科大学 医学部 輸血細胞治療科/藤田医科大学病院 輸血部
三浦康生

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学病院 輸血部/藤田医科大学 医療科学部
松浦秀哲(まつうらひであき)

TEL: 0562-93-2314

e-mail: yuketsu@fujita-hu.ac.jp